

歯科総合診療部・歯学教育研究開発学分野

教授 藤 井 規 孝

昨年の歯学部ニュースでも紹介させていただきましたが、歯科総合診療部は医歯学総合病院中央診療施設に属する診療部門で平成26年度に歯学部内に新設された歯学教育研究開発学分野と深く関係しています。この度、歯学部50周年という節目の記念号に再び原稿をご依頼いただき、大変嬉しく思うと共に新たなスタートラインについてを感じ、身が引き締まる思いです。他の分野に比べ、設立後の期間が浅い当部・分野は、歯学部の輝かしい歴史の中にどれほど貢献できているかわかりませんが、現在の状況等について改めてご報告申し上げます。

歯科総合診療部について

歯科総合診療部は学部・病院において臨床教育に関係しており、学部教育では早期臨床実習1（1年次）、2（2年次）、臨床予備実習（5年次）、臨床実習（5～6年次）を担当しています（早期臨床実習1以外は歯学科のみ）。早期臨床実習1は歯学科と口腔生命福祉学科の1年生が医歯学総合病院歯科で行われている診療を体験・見学する実習で、入学早々の4月に始まります。この実習は1年次学生が自らの数年後の姿をイメージし、歯科医学・歯科医療に対するモチベーションをさらに高めることを目的として、少しずつ工夫を凝らしながら実施しています。実習期間内に行われる学生によるプレゼンテーションでは学生が感じた新鮮な意見が示され、教員も刺激を受けています。早期臨床実習1同様、早期臨床実習2でも現場見学を行いますが、2年次学生は歯学科の専門講義を受講し始めているため、臨床現場と基礎系学科目で履修する講義との関係を考えてもらうことを目的にしています。歯科臨床で使用されている多種多様な器具や材料が、それぞれ何を行うために開発され、どのような組成で作られているの

かを知ることによって、学生は歯科治療に対する理解や興味を深めることができます。2016年から始まった歯学科新カリキュラムでは、この早期臨床実習2を3年次へ移動していただきました。今後、歯学部に関係するほぼすべての分野、診療室の先生方のご協力を得ることにより、さらに内容を充実させたいと考えています。5年次、6年次学生が履修する臨床予備実習、臨床実習は医歯学総合病院歯科を現場として行う実習で、臨床予備実習で準備を行った学生は5年次10月より担当医の一人として治療に参加することになります。本学の臨床実習は診療参加・実践型で行われており、学生は歯科医師に求められる知識や技術だけではなく、責任感や倫理観なども実地に学ぶこととなります。臨床実習はおそらく学生にとって歯学科のカリキュラムの中で最も重圧を感じる実習に相当しますが、歯科医師には卒後も生涯学習という長い階段を登り続ける使命があるため、確実且つできるだけ大きく次のステップへ進むために必要十分以上の準備をしておくことが彼らのためになり、優秀な臨床医や研究者、教育者を育てるためにも非常に有効であることは容易に理解してもらえらると思っています。現在、文部科学省の意



歯科総合診療部スタッフ

向とは裏腹に、診療参加型の臨床実習を十分な形で運営できている歯学部・歯科大学はまだまだ数少なく、新潟大学歯学部の臨床実習に対する注目度や評価は益々高まっていると感じています。時期によっては比較的頻繁に他大学の先生方が見学に来られますが、臨床実習中の学生にはこのようなこともモチベーションに換えてくれることを期待しています。また、臨床実習をさらに発展・継続させるために、大変なご苦労をおかけしている関係各科の先生方や病院スタッフの方々と協議を重ねながら引き続き本実習の運営にご協力願うこと、少しでも多くの患者さんに臨床実習に対するご理解を求めることが歯科総合診療の役目と思っています。

臨床研修の詳細やその他の歯科総合診療部の業務に関しては繰り返しになりますので平成27年度第1号をご参照下さい。前述のように歯科総合診療部は歯学部・医歯学総合病院において臨床教育を担当しておりますが、臨床実習と臨床研修は似て非なるものであり、それぞれが密接に関係しているべきと考えています。今後も引き続き、それぞれの到達目標や次のステップとのつながりを考えながら、学生や研修歯科医だけでなく、彼らを指導して下さる先生方、さらにはできるだけ多くの関係者にご理解いただき易い歯科医師臨床教育体系を構築することに尽力したいと思っています。

歯学教育研究開発学分野について

歯学教育研究開発学分野には専任教授と兼任教授が1名ずつ配置されており、専任教授が医歯学



歯学教育研究開発学分野スタッフ

総合病院歯科総合診療部部長を兼任しています。また、この分野には現在8名のスタッフが在籍しており、そのうち2名の大学院生を含む5名が歯科総合診療部の業務を担当しています。詳細はスタッフ構成図の通りですが、ここでは歯学教育研究室に席を置く2名の教員が担当する業務内容を紹介致します。歯学教育研究室では、大学間連携共同事業（新潟・東北・広島三大学共同教育推進事業）や短期海外留学・受入プログラムに関する連絡調整、サマースクール等の催し、教材開発補助等を担当しています。特定の学年だけではなく、歯学部学生あるいは入学希望者を対象に行うものが含まれますので、必要に応じて学内の様々な部署にご協力いただきながら業務に当たっています。特に近年、新潟大学歯学部ではSSSVと称する海外派遣・留学生受入を積極的に実施しており、これまでに多くの学生がこの事業に参加しています。実際に話を聴いてみると、たとえ短期であってもSSSVに参加することによって学生は非常に刺激を受け、大きく成長することを感じます。これからも様々な業務を通じて歯学部の教育をさらに充実させたいと考えています。

以上が歯科総合診療部・歯学教育研究開発学分野の現状です。当部・分野スタッフ一同、50年という素晴らしい歴史を積み重ねてきた新潟大学歯学部の名に恥じぬよう、また、今後も本学がさらなる発展を遂げるために微力ながら努力を続けるつもりです。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

歯学教育研究開発学分野

兼任教授	小野 和宏	講師	石崎 裕子
特任助教	石田 陽子	助教	伊藤 晴江
特任助教	加来 咲子	助教	奥村 暢旦
専任教授	藤井 規孝	医員	長谷川 真奈
講師	中島 貴子	医員	八田 あずさ
特任助教	塩見 晶	医員	渡邊 大祐
大学院生	中村 太	レジデント	永井 裕子
大学院生	佐藤 拓実	レジデント	関根 彩央里
		レジデント	服部 麗一

歯科総合診療部・歯学教育研究開発学分野スタッフ (2016)